

平成20年11月14日

各 位

会 社 名 日本ジャンボ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 村松 潔
 (J A S D A Q コード 9 6 7 7)
 問合せ先 常務取締役管理本部長
 氏 名 高 橋 理
 電話番号 0 4 6 5 - 6 0 - 2 5 0 0

営業外費用及び特別損失の発生並びに
 平成20年9月期 通期業績予想（連結・個別）の修正に関するお知らせ

平成20年9月期（平成19年10月1日～平成20年9月30日）の業績予想について、平成20年9月3日に公表いたしました通期業績予想を下記のとおり修正いたします。
 なお、営業外費用及び特別損失が発生しましたので合わせてお知らせいたします。

記

1. 個別における営業外費用の発生及びその内容について

平成20年9月期におきまして、過年度より資金運用を実施しておりました複合金融商品(他社株転換社債及び株価指数連動債等)につきまして平成20年9月期にて再評価したところ、時価が下落していることに伴い、平成20年9月期第3四半期での評価と比較し、投資有価証券運用損として124百万円を営業外費用として追加計上することといたしました。

【参考】営業外費用：有価証券運用損・投資有価証券運用損の推移

| | 平成20年9月期 中間期計上額 | 平成20年9月期 第3四半期計上額 | 平成20年9月期 期末計上額 |
|-----------|--------------------|----------------------|-------------------|
| 有価証券運用損 | 122,141,520 | 103,980,197 | 103,980,197 |
| 投資有価証券運用損 | 239,430,000 | 112,910,000 | 236,970,000 |

注1 前回（平成20年9月3日）開示しておりました通期業績予想の修正では、上記平成20年9月期第3四半期現在の数値にて予想しております。

注2 有価証券に関しましては平成20年4月に売却している為、平成20年9月期第3四半期と平成20年9月期期末における有価証券運用損は同額になります。

2. 特別損失の計上及びその内容

個別における投資有価証券評価損の計上について

平成20年9月期におきまして、投資有価証券の時価評価を行ったところ、時価が著しく下落したものあるいは実質価格が著しく下落したものについてその回復が認められないものに関しては、減損処理による投資有価証券評価損として181百万円を特別損失に計上することといたしました。

3. 平成20年9月期通期（平成19年10月1日から平成20年9月30日）の業績予想数値の修正

（1）通期（連結）業績予想 （単位：百万円）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-------------------------|--------|-------|-------|-------|
| 前回予想（A） | 21,112 | 2,173 | 1,937 | 854 |
| 今回修正（B） | 20,838 | 2,041 | 1,674 | 626 |
| 増減額（B - A） | 273 | 132 | 262 | 228 |
| 増減率（%） | 1.3% | 6.1% | 13.6% | 26.7% |
| （ご参考） 前期実績（平成19年9月期） | 24,706 | 3,705 | 3,456 | 1,356 |

（2）通期（個別）業績予想 （単位：百万円）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-------------------------|--------|-------|-------|-------|
| 前回予想（A） | 7,613 | 396 | 560 | 265 |
| 今回修正（B） | 7,503 | 260 | 309 | 1 |
| 増減額（B - A） | 109 | 136 | 250 | 263 |
| 増減率（%） | 1.4% | 34.5% | 44.7% | 99.3% |
| （ご参考） 前期実績（平成19年9月期） | 10,735 | 1,598 | 1,755 | 617 |

4. 平成20年9月期通期、業績予想の修正理由

【個別業績予想の修正理由】

平成20年9月期における売上高につきましては景気の減速傾向による消費者動向の影響もあり、前回予想を若干下回りますが概ね予想通りとなります。しかし、営業利益に関しましては、当社にて採用しております適格退職年金制度にて、株式相場の低迷等による年金資産の減少による影響から、退職給付繰入額（販売費及び一般管理費）が35百万円増加したこと及び設備投資としてデジタルプリントの店頭自動受付端末の設置台数が予定よりも増加したことから、少額資産償却費（販売費及び一般管理費）が予想より65百万円増加したこと等により136百万円の修正となりました。

経常利益につきましては、営業利益の減少に加え、株式相場の低迷による影響から上記1による営業外費用が発生したため250百万円の修正となりました。当期純利益に関しましても、経常利益での影響を加味したこと及び上記2による特別損失が発生したため263百万円の修正となりました。

【連結業績予想の修正理由】

連結業績予想につきましては、各連結子会社での売上高が予想を若干下回りますが、概ね前回予想の通りとなり今回の修正理由は個別業績予想の修正によるものであります。

以上

（業績等の予想に関する注意事項）

上記の予想は、現時点で入手可能な情報も基づき作成したものでありますので、実際の業績は上記予想値と異なる場合があります。